

まちだゆかりの作家—

赤瀬川原平・岡崎和郎・中里斉

2018年9月5日(水)～12月24日(月・振休)

2016年度から開催している町田市にゆかりのあるアーティストを紹介するミニ企画の第三弾です。

今回は3人のアーティストを取り上げます。共通しているのは、町田市にゆかりがあること以外、1930年代生まれであること、そして戦後の現代美術の先端で先鋭的な作品を制作発表してきた作家であることです。

赤瀬川原平(あかせがわ げんぺい、1937-2014)は、1960年に「ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ」に参加、1963年には「ハイ・レッドセンター」を結成して前衛芸術運動を展開させた美術家です。「尾辻克彦」の名で小説家としても活躍しました。1970年代から、「不動産に付着しかつ美しく保存されている、本来の物理的機能を失った物件(無用の長物)」を「超芸術トマソン」と呼び、芸術概念として示しました。本ミニ企画にはそれらを版画化した作品を出品します。そのなかには、1984年より住みはじめた町田市内で見つけた「トマソン」も含まれています。

岡崎和郎(おかざき かずお、1930生まれ)は作品の唯一性を重視する美術界の風潮に対して「複数性」に存在意義を見出し、独自のマルチプル(複数制作作品)思想を打ち出した彫刻家です。1950年代より、既製品など身の回りのものをモチーフにして、ユニークで軽快な、愛らしいオブジェを制作してきました。今回は、茂みのなかの一葉だけをハサミでハート型に切り抜いて写真に収め、版画化した《HITOHA》などを展示します。ハート型の一葉には樋口一葉のイメージが重ね合わせられていて、思いがけない発見と解釈をもたらしてくれます。現在も町田市に在住して活動している美術家です。

中里斉(なかざと ひとし、1936-2010)は、町田市で生まれ育った美術家です。1960年代よりアメリカを拠点に活動し、最小限のかたちと色彩で構成した絵画と版画を制作しました。アメリカ社会・文化と日本のそれらとの狭間にいることを強く意識させられる生活のなかで、制作過程の思考を英語と日本語の両方で検証しつつ進めるといった客観的な作品制作をおこないました。本企画に出品される版画の多くは、さまざまな色の砂を付着してマチエールをつかったスクリーンプリントです。それらは、リトグラフ制作のための石版の研磨作業の際に、石版の上で研磨砂がイメージを浮かび上がらせ消えていく様子を見たことに端を発して生まれました。その様子に錦絵の雲母摺りのイメージが重ね合わせられています。

◇出品リスト

◆赤瀬川原平

- 1 公務のドローイング採集
1988
オフセット、凸版 728×1030 mm
- 2 路上の日蝕観測
1988
オフセット、凸版 728×1030 mm
- 3 植物的無意識が含むπの採集
1988
オフセット、凸版 728×1030 mm
- 4 風のレコード・大盤
1988
オフセット、凸版 728×1030 mm
- 5 版画集『トマソン黙示録』(14点)
1988
オフセット、凸版 365×515 mm

- 1 真空の踊り場・四谷階段
- 2 歩行者用のダム
- 3 通り抜けた家
- 4 無用の底窓の夢
- 5 午後3時・影の越境するとき
- 6 雨上がりの体重計
- 7 風のレコード
- 8 凹んだ凸・両性具有
- 9 同じ日のハレー彗星
- 10 セメントーフ
- 11 干渉縞
- 12 駐車場の中の主
- 13 なおも画鋏で留めた記憶
- 14 獐猛な肛(テールランプ) 門

◆岡崎和郎

- 6 HITOHA [赤]
1979
オフセット 755×1071 mm
- 7 HITOHA [黒]
1979
オフセット 755×1071 mm
- 8 POSTCARD '83
1983
オフセット 770×1067 mm
- 9 HISASHI
1984
オフセット 730×1045 mm
- 10 HISASHI
1987
オフセット 660×1030 mm
- 11 溶けるティーカップ
1997
スクリーンプリント 505×605 mm

12 溶けるティーカップ
1997
スクリーンプリント 505×605 mm

◆中里齊

13 題名不詳
1976
スクリーンプリント、砂 615×685 mm

14 題名不詳
1976
スクリーンプリント、砂 490×880 mm

15 Kerr I
1981
アクアチント 1110×755 mm

16 Kerr II
1981
アクアチント 1110×755 mm

17 Kerr III
1981
アクアチント 1110×755 mm

18 線外 スチュアート・デイヴィスから
1996
スクリーンプリント、砂 1120×760 mm

19 抽象的コンポジション スチュアート・デイヴィスから
1996
スクリーンプリント、砂 1120×760 mm

20 トルソと頭部 スチュアート・デイヴィスから
2001
スクリーンプリント、砂 1120×760 mm

21 モナド 砂4
2009
スクリーンプリント、砂 1120×760 mm

22 モナド 砂5
2009
スクリーンプリント、砂 1120×760 mm

23 モナド 砂6
2009
スクリーンプリント、砂 1120×760 mm

◇ 畦地梅太郎(あぜち うめたろう、1902-99) 展示

宇和島風景
1930頃 木版 150×183 mm

鳥と山男
1957 木版 557×361 mm

青い地表
1960 木版 554×360 mm

山男
1969 木版 408×260 mm

◇ 浮世絵展示

特集：明治の浮世絵師 豊原国周
(とよはら・くにちか、1835-1900)

以下のとおり展示替えを行います。

前期：9/5～10/14 『開化三十六会席』

中期：10/16～11/18 『善悪三拾六美人』

後期：11/20～12/24 『開化人情鏡』

□前期

開化三十六会席

明治11年(1878)

大判錦絵

新橋竹川町 花月楼

王子 扇屋

両国 中村屋

□中期

善悪三拾六美人

明治9年(1876)

大判錦絵

二代目高尾

鬼神の於松

加賀の千代

□後期

開化人情鏡 勉強

明治11年(1878)

大判錦絵

勉強

孝行娘

写真

2018年9月5日
発行：町田市立国際版画美術館
〒194-0013 東京都町田市原町田 4-28-1
<http://hanga-museum.jp/>